

平成28年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	農業施設改修事業				担当部	地域活性化営業部				
	会計区分	一般会計		事業類型	施設整備系		担当課	農政課			
	事業期間	平成12年度以前		～	平成31年度以降		担当係	事業係			
	総合計画 新基本計画	施策等	5 産業・交流		19 農業		2 農業生産基盤の整備を推進します				
			重点事業		実施計画事業						
	予算区分	款	6	項	1	目	4	大	3	中	2
	根拠法令・個別計画										
	目的	何・誰を対象に	修繕等が必要な農業施設								
		どの様な状態にするのか	農業施設の改修、改良を行うことにより、農業に不可欠な水の適正な配分による農業の振興と強降雨時の治水上の安全を図る。								
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業施設の操作不良等に対する改修、改良、及び区長等から工事申請を受けた施設の工事を実施した。 <p>◆27年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業施設維持補修工事費7件(8,435千円) 老朽化した農業用水門等の取替え 取水ゲート等取替 5件 パイプライン破損補修 2件 <p>◆28年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業施設維持補修工事費(14,000千円) ・農業用水施設改修設計業務委託(1,000千円) 老朽化した農業用水門等の取替え及び用水供給困難区域解消のための水路改修を行う。 									
受益者負担	無										

			単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額	
	コスト	費用	直接経費		千円	3,580	19,502	8,435
正職員			従事者数	人	0.15	0.20	0.20	0.20
			人件費	千円	825	1,100	1,100	1,100
その他職員			従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
費用合計		千円	4,405	20,602	9,535	16,100		
対前年比		%		467.6	46.2	168.8		
財源	一般財源		千円	4,405	20,602	9,535	16,100	
	国・県支出金		千円	0	0	0	0	
	その他財源		千円	0	0	0	0	

業 績	活動指標名		単位	H25	H26	H27	H28
	改修・改良件数	箇所	目標	—	—	—	—
			実績	4	7	7	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H25	H26	H27	H28
改修・改良件数	箇所	目標	—	—	—	—	
		実績	4	7	7		
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成27年度の実施結果	事業の達成状況	区長申請等による農業施設の改修、改良等の要望についてほぼ対応を行ったが、一部を次年度へ持越すことになったものもある。			
		事業実施における課題	区長申請等について平成27年度内で全てに対応することができず、平成28年度に一部持ち越すものがあった。既存の農業用施設のほとんどの老朽化が進んでおり、突発的なものについて対応が困難な場合もある。全ての施設を改修するには莫大な費用を要する。			
		事業を縮小・廃止したときの影響	農業用施設の操作不良等についてはほぼ対応が出来たが、営農活動に及ぼす影響が大きいため、今後も実施する必要がある。			
	平成28年度の改善内容	28年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	操作不良等の全てに要望を対しての対応は困難であり、周辺の影響の度合い及び必要性について検討を行い、地元理解を求め事業を進めるとともに、農業施設の適正な維持管理に努める。			
	平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)		
	判定理由	農業用施設の操作不良等は、営農活動に及ぼす影響が大きいため、今後も実施する必要がある。				
	29年度以降の改善案	定期的な点検を行うことにより施設の延命を図る。また、老朽化施設の改修を計画的に進めて行く。				

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。